2020/05/26 更新

大阪大学 博士課程教育リーディングプログラム
超域イノベーション博士課程プログラム

2020 年度
Basic コース 履修生 (10 月 1 日履修開始)

募集要項

本冊子は大阪大学超域イノベーション博士課程プログラムのうち、1 年次と 2 年次の部分である Basic コースを履修する者の募集について、出願の区分、出願の方法、選抜についての進め方などを示しています。

Basic コースへの出願に際しては、ホームページ (http://www.cbi.osaka-u.ac.jp) に掲載されている「プログラム案内」と「Basic コース 教育目標、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシー」の各冊子を熟読してください。あわせて、ホームページの各ページも参考にしてください。ただし、出願に関係しないホームページの内容については、2020 年度以降の履修生には適用されない（2019 年度までの）内容も含まれています。

その上で、履修開始後 3 年次以降の Advanced コースとの関係をよく理解し、履修を出願する区分を判断してください。あわせて、本履修生としての履修に出願する場合には、あらかじめ、指導教員とよく相談をしてください。

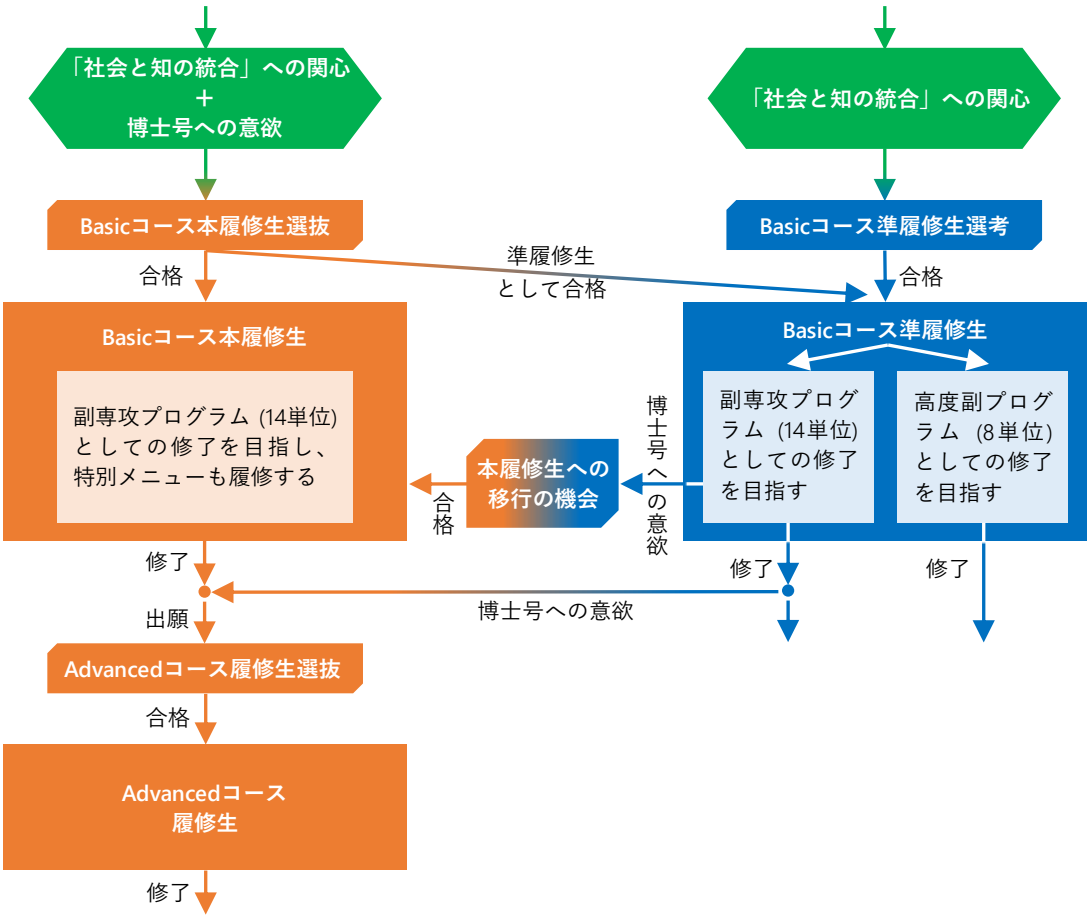
なお、上記ホームページの選抜関連ページに Q&A を掲載します。Q&A の内容は、適宜、必要に応じて更新していきます。出願に際しては最新の Q&A を確認してください。

１． 出願区分

超域イノベーション博士課程プログラム（以下「本プログラム」と称す。）の Basic コースでは下記の表に示すように、履修生を、Basic コースの修了後に引き続いて Advanced コースにも進学しゆくゆくは社会と知の統合に関わるテーマでの博士号取得を目指す「本履修生」と、社会と知の統合に向けた関心を持つものの、Advanced コースへの進学は意図しない「準履修生」の 2 つに分けています。

出願区分	本履修生	準履修生
概要	博士号の取得を志し、Advanced コースへの進学を前提に、２年間の Basic コースを履修する	２年間の Basic コースを履修し、その修了を目指す（博士号取得への意志は問わない）
コースワーク	ラーニング科目群、海外フィールドスタディ等の実践活動（旅費等の参加費は支援）	ラーニング科目群
自主的活動の機会	自主的な取り組み（アクティビティ）での活動経費への支援（審査あり）	
学修支援	チューター教員制度など	
経済的支援	優れた者に審査を経て奨学金を支給する制度（月額 6 万円を予定）※1	

Basic コースへの出願にあたっては「Basic コース 教育目標、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシー」の冊子、上記の表の内容および下記のフローチャートを参考にして、本履修生に出願するのか、準履修生に出願するのか、の出願区分を決めてください。



なお、本履修生に出願する場合には準履修生を併願することができます。準履修生に合格した場合には、コースワークで所定の 14 単位以上※2 を履修するか、コースワークで所定の 8 単位以上※3 を履修するかを任意に選択することができます。14 単位以上を履修しようとする準履修生については、審査を経て本履修生に移行する機会※4 があります。
Advanced コースの履修者選抜には、本履修生として Basic コースを修了した者、および準履修生としてコースワークで所定の 14 単位以上を履修して修了した者で、かつその時点で博士号取得への意欲がある者が出願できます。ただし、その他の者についても、別途定める出願資格審査に合格すれば、Advanced コースの履修者選抜に出願することができます。

※1　当該の制度については、別冊子の「プログラム案内」を参照してください。
※2　大学院副専攻プログラム「超域イノベーション副専攻プログラム」の修了要件である 14 単位を指します。
※3　大学院等高度副プログラム「超域イノベーション高度副プログラム」の修了要件である 8 単位を指します。
※4　準履修生から本履修生への移行に関わる審査に際しては、博士前期課程に在籍する者にあっては博士後期課程への進学の意志、5 年一貫制の博士課程に在籍する者にあっては、博士課程 3 年次への進学の意思が必須となります。審査の内容等の詳細については履修開始後に通知します。また、移行を希望する場合には前もって、本履修生に移行した場合に履修することになる海外での自己研修活動に関連する授業を受講しておくことが推奨されます。

以下では、本履修生選抜と準履修生選抜のそれぞれの記述を並行して行います。出願等に際しては出願区分間の混同がないように十分に注意してください。なお、本履修生選抜では応募者に順位を付け合否を判定します。その結果は 2021 年 3 月までの奨学金の支給対象者を選考する上での基礎資料にもなります。準履修生選抜では履修生としての適性を応募者毎に判定します。準履修生選抜において適性のある者が定員を上回った場合は抽選により履修者を決定します。

２．募集定員

	本履修生	準履修生
募集定員	１５名	１５名

３．出願資格

本履修生については、下表において出願可として記載されている研究科※5・専攻・課程に、いずれかの年の 4 月に入学した者であり、かつ休学の期間を除く在籍期間が 2020 年 9 月末時点で 6 ヶ月を超えない者、およびいずれかの年の 10 月に入学した者であり、かつ休学の期間を除く在籍期間が 2020 年 9 月末時点で 1 年を超えない者を出願可能とします。準履修生については、休学の期間を除く在籍期間が 2020 年 9 月末時点で 6 ヶ月を超えない者を出願可能とします。いずれの場合においても 2020 年 10 月に当該研究科に在籍しない者は対象外となります※6。

課程	研究科・専攻*7　出願区分	本履修生	準履修生
博士前期課程*8	文学研究科（文化形態論専攻、文化表現論専攻）、人間科学研究科、法学研究科、経済学研究科、理学研究科、医学系研究科（保健学専攻）、薬学研究科（創成薬学専攻）、工学研究科、基礎工学研究科、言語文化研究科、国際公共政策研究科、情報科学研究科	出願可	出願可
博士課程	医学系研究科（医学専攻）、歯学研究科、薬学研究科（医療薬学専攻）、生命機能研究科		
修士課程*9	文学研究科（文化動態論専攻）、医学系研究科（医科学専攻）	出願不可	

※5　高等司法研究科と大阪大学・金沢大学・浜松医科大学・千葉大学・福井大学連合小児発達学研究科には出願対象

となる課程はありません。

※6　本条件を満たす場合であっても、同一研究科の同一課程において過去に本プログラム Basic コース選抜試験を受験した経験がある場合、2 度目の受験はできません。また本履修生と準履修生への併願は、両方の出願資格を満たす場合にのみ可能です。

※7　専攻の記載のない研究科ではすべての専攻が該当します。

※8　博士前期課程は博士前期課程･博士後期課程による区分制博士課程（5 年制）を構成しています。

※9　修士課程は博士号の取得を前提とする課程ではないため、本履修生にはなれません。ただし、修士課程修了後にいずれかの研究科の博士後期課程に進学する場合には、出願資格審査を経て、Advanced コース履修者選抜に出願することができます。

なお、超域イノベーション博士課程プログラムの本履修生が他の博士課程教育リーディングプログラムおよび卓越大学院プログラムなどから重複して経済的支援を受けることはできません。その他、不明な点がある場合は本プログラム事務室へ個別にお問い合わせください。

４．出願手続

本プログラムのホームページ（http://www.cbi.osaka-u.ac.jp）から所定の様式をダウンロードし、下記の要領で出願手続きを行ってください。

出願区分	本履修生	準履修生
出願方法	郵送または願書受理場所へ持参 ＊新型コロナウィルス等の影響により上記の方法による出願が困難な場合には、メールでの提出を認めることがあります。詳細については個別にお問合せください。	
願書受理期間	2020 年 6 月 19 日 (金) ～ 同 7 月 10 日 (金) 持参時受付時間 : 土日祝日を除く、午前 9 時 30 分 ～ 同 11 時 30 分、午後 1 時 30 分 ～ 同 4 時 ＊ 時間外および締切後は願書を受理することはできません。	
願書受理場所	超域イノベーション博士課程プログラム 事務室（最先端医療イノベーションセンター棟 3 階） (ホームページ http://www.osaka-u.ac.jp/ja/access/suita/suita.html に掲載されている吹田キャンパスのキャンパスマップ上の 59 番の建物)	
出願書類	「６．出願に際して提出する書類」の (1) ～ (9)	「６．出願に際して提出する書類」の (1) ～ (3), (9)

【 郵送方法 】

宛先 ：〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 2-2 大阪大学 最先端医療イノベーションセンター棟 3 階
超域イノベーション博士課程プログラム 事務室

角形 2 号の封筒を利用し、必ず「2020 年度出願書類在中」と朱書きのうえ「速達書留」郵便で送付してください。
送付にあたっては願書書類フォーマットに付随する「郵送先宛名」を封筒に貼り付けて利用することを推奨します。
願書受理期間を過ぎて届いたものについても、7 月 10 日（金）16:00 以前の日本国内での消印があるものについては、出願書類として有効とします。

５．　検定料

不要（ただし、交通費等受験に必要な費用は自費となります）

６．出願に際して提出する書類

本履修生・準履修生の出願区分に応じて、下表に従い各出願書類を提出してください※10。所定の様式は本プログラムのホームページ （http://www.cbi.osaka-u.ac.jp）からダウンロードしてください。

書　類		内　容　　出願区分	本履修生	準履修生
(1)	履修願書・履歴書（様式 1）	所定の様式に記入してください。なお、本履修生に応募する者にあっては、準履修生を併願するかどうかを様式に従って明記してください※11。	○	○
(2)	受験票（様式 2）	所定の様式に記入の上、写真（3 か月以内に撮影）を貼り付けてください。	○	○
(3)	出願理由書（様式 3）	教育目標やアドミッション・ポリシーを熟読した上で、所定の様式に、注釈の指示に従って記入してください。	○	○
(4)	研究計画書（様式 4）	所定の様式に、注釈の指示に従って記入してください。	○	×
(5)	指導教員推薦書および合格時の履修承諾書（様式 5）	所定の様式に必要事項を記入した上で、在籍中の研究科・専攻における指導教員に注釈の指示に従った推薦文の記入および署名、書類の郵送を依頼してください。	○	×
(6)	成績証明書（様式 6）	2020 年 3 月（2019 年度末）以前に在籍していた教育機関のうち、直近に在籍していた教育機関での最新の成績証明書またはこれに準ずるもので、教育機関の長が作成したものに所定の様式を表紙に付けてください※12。	○	×
(7)	外国語能力調書および外国語能力参考資料（様式 7）	所定の様式に注釈の指示に従って記入してください。また記載した内容を証明する資料（英語能力判定テストのスコア証明書など）がある者は、資料の写し※13 の添付を認めます（任意）。	○（一部任意）	×
(8)	参考資料（様式 8）	本プログラムの履修生としての適格性をアピールする資料を注釈※14 に従い制限の範囲内で提出することができます。その際には、所定の様式を表紙に付けてください（任意）。	任意	×
(9)	チェックリスト（様式 9）	所定の様式に記入してください。	○	○

○：要、×：不要・不可

※10　本履修生に出願する者が準履修生を併願する場合は、本履修生出願書類（1）～（4）および（6）～ (9) 一式を提出してください。それぞれについて 2 通を提出する必要はありません。

※11　併願の有無は本履修生の合否には影響しません。

※12　当該の教育機関が下記のいずれかに該当する場合には、それぞれに指定の成績証明書を提出してください。

＊　高等専門学校専攻科出身者は本科・専攻科両方の成績証明書を提出してください。

＊　大学の学士課程の 3 年次等に編入学をした者は、編入前に在籍した教育機関の成績証明書も併せて提出してください。

※13　出願書類としては資料の写しの提出を受け、後出の履修手続きの際に正本を確認します。正本が確認できない場合には出願書類の虚偽と判断します。

※14　社会活動、学業や研究活動などの諸活動についての下記のような資料（複数可）を提出することができます。提出するものがない場合は表紙のみを提出してください。

＊　諸活動の成果物。社会活動であれば既存の報告書等（応募者自身が執筆したものを含む。写しの提出も可）。研究活動であれば、学術雑誌もしくは国際会議のプロシーディングに掲載された論文等（掲載予定のものも可）。ただし、卒業論文あるいはそれに類するものを除く。

＊　諸活動の関係者による推薦書。様式は任意であるが、推薦者が厳封したものに限る。指導教員である者が指導教員以外の立場で作成する推薦書は (8) の参考資料として提出することができます。

＊　新聞や雑誌等での当該活動に関連する記事のコピー。

なお、出願書類の準備にあたっては、下記の各事項に注意してください。

(1)　出願書類に不備のある場合は受理できません。

(2)　出願手続後は、原則として記載事項の変更は認めません。

(3)　出願時に提出された書類は、原則として返却しません。

(4)　出願書類に虚偽の記載があった場合は、合格決定後であっても履修の許可を取り消すことがあります。

7．選抜プロセス

選抜試験は下記の表に示す日程で実施します。

出願区分	本履修生	準履修生
願書受理期間	2020 年 6 月 19 日（金）～ 同 7 月 10 日（金）	
レポート課題提示※15	2020 年 7 月 14 日（火）	
予備審査結果通知 受験票メール送付	2020 年 7 月 31 日（金）※16	
レポート課題提出締め切り	2020 年 8 月 5 日（水）	
面接試験※17	2020 年 8 月 8 日（土）もしくは 9 日（日） 試験内容の詳細、諸注意事項は別添「選抜試験の心得」を参照してください 準履修生選抜の試験日は、受験人数に応じて決定します。	
合格発表	2020 年 9 月 11 日（金）（本プログラムホームページにて発表）※18、※19	
履修宣誓式 オリエンテーション	2020 年 9 月 25 日（金）※20	

※15　レポート審査は本履修生として出願した受験者に対してのみ実施されます。

※16　レポート審査・面接試験は予備審査通過者のみが受験可能です。予備審査の結果は、出願書類に記載の e メールアドレスへ通知します。合格者には e メールに添付する形で受験票を発行します。2020 年 7 月 31 日（金）を過ぎても予備審査の結果通知が届かない場合は、超域イノベーション博士課程プログラム事務室（連絡先は末尾を参照）までお問い合わせください。

※17　面接審査はオンラインテレビ会議システムで実施します。詳細な案内は予備審査の結果とともに通知します。

※18　本履修生として出願した者が、「６．出願に関する書類」における履修願書の※11 に該当する箇所で準履修生の併願を希望する旨を記載した場合、合格発表において、本履修生としては不合格であっても、準履修生として合格になることがあります。

※19　合格発表後に本履修生に欠員が生じた場合、2020 年 9 月 23 日（水）までは選抜試験を受験した者の中から繰り上げて合格者を出す場合があります。その際の連絡は出願書類に記載された電話番号とメールアドレスに行います。

※20　履修宣誓式およびオリエンテーションについては、本試験において合格した本履修生・準履修生ともに原則として参加が必須となります。やむを得ない理由により欠席する場合は可能な限り早期にご連絡ください。

なお、選抜試験に関しては、下記の各事項に注意をしてください。

(1)　障がい等がある者で、受験に際して特別な配慮を希望する場合には原則として 2020 年 6 月 26 日（金）までに超域イノベーション博士課程プログラム事務室へお問い合わせください（連絡先は末尾を参照）。なお、対応の検討に時間を要する場合がありますので、可能な限り早期のお問い合わせをお願いいたします。

(2)　選抜試験の会場には自動車・バイク等を駐車可能なスペースはありません。

(3)　合格発表は本プログラムホームページ（http://www.cbi.osaka-u.ac.jp）にて行います。電話、メール等による合否の問い合わせには一切応じられません。

８．履修手続きについて

選抜試験の合格者が本プログラムの Basic コースを履修するためには、本プログラムの履修手続が必要となります。なお、本プログラムを履修することによる追加の入学料・授業料は必要ありません。履修手続きの詳細は合格者に別途連絡します。

９．備考

選抜試験における個人情報は下記のように取り扱います。

(1)　出願時に提出された個人情報は「履修者選抜試験 (出願処理、試験実施)」、「合格発表」、「履修手続」等の業務および本プログラムに関する業務を行うために利用されます。

(2)　履修者選抜試験に用いた試験成績等の個人情報は、試験結果の集計・分析及び履修者選抜方法の調査・研究のために利用されます。

(3)　上記 (1) 及び (2) の業務を行うに当たり、一部の業務を外部の事業者に委託する場合があります。この場合、外部の事業者と個人情報の取扱いが適切に行われるよう契約を結んだうえで、当該事業者に対して、提出された個人情報の全部または一部を提供します。

【 各種問い合わせ先 】

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 2-2
大阪大学 最先端医療イノベーションセンター棟 3 階
超域イノベーション博士課程プログラム 事務室
TEL: 06-6210-8253（直通） FAX: 06-6210-8254　E-mail: info@cbi.osaka-u.ac.jp

大阪大学
超域イノベーション博士課程プログラム Basic コース
2020 年度　選抜試験の心得

（本履修生試験受験者対象）*準履修生受験者は p4 以降を確認のこと

1.　試験内容・日程

（1）　レポート審査

事前に提示された課題についてレポートを作成し提出する。

課題提示：7 月 14 日（火）（公式ホームページ上では正午に公開）

提出締め切り：8 月 5 日（水）12:00

（2）　面接試験

オンラインテレビ会議システムを利用して、レポート審査や出願書類の内容について審査委員と質疑応答を行う。

日程：2020 年 8 月 8 日（土）もしくは 8 月 9 日（日）

※詳細な面接試験の日程は受験者の人数によって決定します。日程およびオンラインテレビ会議システムの利用方法は受験者に対して個別に連絡します。

2.　追試

受験者が以下の条件に該当し、面接試験の実施が困難な場合に限り、追試を実施します。追試を希望する受験者は面接試験の実施時間までに下記「5. 緊急連絡先」にご連絡ください。

○　追試実施の条件

- 新型コロナウィルス感染症に罹患し治癒していない者。
- 新型コロナウィルス感染症患者の濃厚接触者と判断された者。
- 新型コロナウィルス感染症に関係して、日本へ入国できない者。

※その他、各研究科と行政の指針に従って個別に判断する。

○　追試実施日：8 月 24 日（月）

3． 試験に関する注意事項

レポート審査に関する注意

(1) 課題は、執筆要項・提出方法とあわせて、7 月 14 日（火）に受験者に個別にメールで提示されるほか、本プログラムの公式ホームページ上でも公開されます。必ず確認してください。

(2) 提出されたレポートの内容について、面接試験において審査委員から質疑が行われます。

(3) 提出されたレポートの内容は剽窃チェックソフトによって確認します。

(4) 信憑性に疑問のある出典については後日受験者に問い合わせる可能性があります。

(5) 剽窃・代筆・捏造などの不正行為が発覚した場合、厳正に対処します。

面接試験の事前準備、注意

(6) 試験日程および受験番号を必ず確認してください。

(7) オンラインテレビ会議システムへの入室用の URL およびパスワードを必ず確認してください。

(8) 「学生証」を手元に準備してください。

(9) 試験当日に向けて体調を万全にしておいてください。あらかじめ試験当日の体調不良が想定される場合、また上記 2 の追試実施の条件に該当する場合には、必ず下記「5. 緊急連絡先」にご連絡ください。

(10) 選抜試験の受験を辞退する場合には、必ず事前（8 月 7 日（金）17 時まで）に下記「5. 緊急連絡先」にその旨を伝えてください。

(11) 面接中に通信回線の切断・不安定化が生じた場合、電話を通じて連絡を取ります。面接中は必ず電話を準備しておいてください。

(12) 受験者がオンラインテレビ会議システムでの面接に適した機器・環境を有していない場合（PC を有していない、PC にビデオカメラが搭載されていない、インターネットが利用できない、通信量に制限があるなど）、面接時間に限り、本学の無線 LAN が利用できる PC を所定の教室で貸与します。希望する学生は 8 月 5 日（水）17:00 までに募集要項に記載の問い合わせ先にその旨を伝えてください。

面接試験実施中の注意

(13) 指定された時刻になったらオンラインテレビ会議システムにアクセスし、面接を開始してください。

(14) 面接開始時刻に遅刻した場合は、原則として受験を認めません。遅刻の可能性がある場合は必ず下記「5. 緊急連絡先」までご連絡ください。

(15) 面接中はビデオカメラをオンにしてください。

(16) 面接が開始されたら学生証をビデオに映し出してください。

(17) 面接中は画面を録画・プリントスクリーンショットなどしないでください。

(18)　面接中に体調不良を感じた場合は速やかにその旨を申し出てください。

(19)　面接中に通信回線の切断・不安定化が生じ、面接の続行が不可能になった場合、また、審査委員側から受験者の映像・音声が確認できなくなった場合、出願書類に記載された受験者の電話番号に連絡を行います。

(20)　試験期間中に知り得た情報を、当試験受験者以外に知らせることを禁止します。

(21)　その他、監督者・係員の指示に従ってください。

4.　最終合格者発表について

日時：　2020 年 9 月 11 日（金）　13 時～
ホームページ（http://www.cbi.osaka-u.ac.jp）にて公開

- 掲示による発表は行いません。
- 合格手続等についての詳細は上記ホームページに記載します。
- 電話、メール等による合否の問い合わせには、一切応じません。

5.　緊急連絡先

平日 9 時 ～ 17 時

大阪大学 国際共創大学院学位プログラム推進機構
超域イノベーション博士課程プログラム部門
事務室　06-6210-8253

大阪大学
超域イノベーション博士課程プログラム Basic コース
2020 年度　選抜試験の心得

（準履修生試験受験者対象）

1.　試験内容・日程

面接試験

オンラインテレビ会議システムを利用して、出願書類の内容について審査委員と質疑応答を行う。

日程：2020 年 8 月 8 日（土）もしくは 8 月 9 日（日）

※詳細な面接試験の日程は受験者の人数によって決定します。日程およびオンラインテレビ会議システムの利用方法は受験者に対して個別に連絡します。

2.　追試

受験者が以下の条件に該当し、面接試験の実施が困難な場合に限り、追試を実施します。追試を希望する受験者は面接試験の実施時間までに下記「5. 緊急連絡先」にご連絡ください。

○　追試実施の条件

- 新型コロナウィルス感染症に罹患し治癒していない者。
- 新型コロナウィルス感染症患者の濃厚接触者と判断された者。
- 新型コロナウィルス感染症に関係して、日本へ入国できない者。

※その他、各研究科と行政の指針に従って個別に判断する。

○　追試実施日：8 月 24 日（月）

3． 試験に関する注意事項

面接試験の事前準備、注意

(1) 試験日程および受験番号を必ず確認してください。

(2) オンラインテレビ会議システムへの入室用の URL およびパスワードを必ず確認してください。

(3) 「学生証」を手元に準備してください。

(4) 試験当日に向けて体調を万全にしておいてください。あらかじめ試験当日の体調不良が想定される場合、また上記 2 の追試実施の条件に該当する場合には、必ず下記「5. 緊急連絡先」にご連絡ください。

(5) 選抜試験の受験を辞退する場合には、必ず事前（8 月 7 日（金）17 時まで）に下記「5. 緊急連絡先」にその旨を伝えてください。

(6) 面接中に通信回線の切断・不安定化が生じた場合、電話を通じて連絡を取ります。面接中は必ず電話を準備しておいてください。

(7) 受験者がオンラインテレビ会議システムでの面接に適した機器・環境を有していない場合（PC を有していない、PC にビデオカメラが搭載されていない、インターネットが利用できない、通信量に制限があるなど）、面接時間に限り、本学の無線 LAN が利用できる PC を所定の教室で貸与します。希望する学生は 8 月 5 日（水）17:00 までに募集要項に記載の問い合わせ先にその旨を伝えてください。

面接試験実施中の注意

(8) 指定された時刻になったらオンラインテレビ会議システムにアクセスし、面接を開始してください。

(9) 面接開始時刻に遅刻した場合は、原則として受験を認めません。遅刻の可能性がある場合は必ず下記「5. 緊急連絡先」までご連絡ください。

(10) 面接中はビデオカメラをオンにしてください。

(11) 面接が開始されたら学生証をビデオに映し出してください。

(12) 面接中は画面を録画・プリントスクリーンショットなどしないでください。

(13) 面接中に体調不良を感じた場合は速やかにその旨を申し出てください。

(14) 面接中に通信回線の切断・不安定化が生じ、面接の続行が不可能になった場合、また、審査委員側から受験者の映像・音声が確認できなくなった場合、出願書類に記載された受験者の電話番号に連絡を行います。

(15) 試験期間中に知り得た情報を、当試験受験者以外に知らせることを禁止します。

(16) その他、監督者・係員の指示に従ってください。

4. 最終合格者発表について

日時：　2020 年 9 月 11 日（金）　13 時～
ホームページ（http://www.cbi.osaka-u.ac.jp）にて公開

- 掲示による発表は行いません。
- 合格手続等についての詳細は上記ホームページに記載します。
- 電話、メール等による合否の問い合わせには、一切応じません。

5. 緊急連絡先

平日 9 時 ～ 17 時

大阪大学 国際共創大学院学位プログラム推進機構
超域イノベーション博士課程プログラム部門
事務室　06-6210-8253

以上